

令和 3 年 6 月 4 日現在

機関番号：11301

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H01985

研究課題名(和文) 公的及び私的主体による要支援者支援に関する包括的研究

研究課題名(英文) Interdisciplinary research on laws regarding support of persons in need.

研究代表者

久保野 恵美子 (Kubono, Emiko)

東北大学・法学研究科・教授

研究者番号：70261948

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 25,800,000円

研究成果の概要(和文)：自らの生命、心身の安全等の確保が困難な者(要支援者)の支援に焦点を当て、複数の法分野の包括的考察を行った。社会福祉立法の切り札とも言われる生活困窮者自立支援法について、民法・社会保障法・行政法の観点から検討を加え、民間組織を含むアクター間の関係を活かした統制可能性の確保、個人の尊厳の保障、支援単位の捉え方、等の視点と課題を示した他、子ども及び精神障害者への支援法制の分析を通じ、他の支援者支援領域にも適用しうる理論的・制度的考察枠組みを提示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、要支援者の福祉の実現という社会的重要性を増す課題に対して、実体法及び手続法の複数の分野並びに法社会学にまたがる研究者の参画を得て、横断的・融合的な研究をすることにより、当事者本人を起点とするアクター間の関係、支援者对被支援者構図の限界、本人の尊厳への干渉の危険性、支援における家族の位置づけ等の支援の単位、支援の内容等の法制度の評価・設計に関わる仕組み解明のための包括的・体系的視点を探求しつつ、かかる視点を踏まえて、具体的な支援者支援法制上の課題に対応しうる制度の評価、立法の方向性及び解釈論を提示することができた。

研究成果の概要(英文)： This interdisciplinary research project focused on support of persons in need. As the main outcome, by analyzing the Services and Supports for Persons Living in Poverty Act (Seikatsu Konkyusya Jiritsu Shien Ho) which was enacted in 2013 and has been seen as a turning point for the Japanese social welfare system from the perspective of administrative law, social security law and civil law, we highlighted such reference points as the importance of legal control of network of actors, including private sectors, and concern for securing 'dignity' of the person supported. Furthermore, by examining the legal system regarding support for children and persons suffering from mental disease, we proposed theoretical frameworks, which could be applicable for tackling interpretive or legislative issues raised about a wide variety of laws and legislative frameworks regarding support of persons in need.

研究分野：民事法

キーワード：社会保障法 行政法 要支援者 支援 生活困窮者 精神障害者 児童保護 児童虐待

## 1. 研究開始当初の背景

社会には、自らの生命、健康、心身の安全等の確保が困難な者(児童、障害者、身体又は認知の機能が低下した高齢者等)がいる。こうした者については、その福祉を実現するため、他者からの支援が必要である(以下では、こうした支援を要する者という意味で(介護保険法7条4項とは異なる意味で)「要支援者」の語を用いる)。要支援者への支援提供の法制度は多様な領域に存在するが、現行法の諸制度において、支援の提供の責任は、私的主体と公的主体とがともに担うことが想定されており(児童福祉法2条、生活保護法1条・4条、精神保健福祉法2条、33条1項から3項等)それらの領域では、両者の関係をめぐって難しい考量が求められる。実際、それらの領域においては、理論上、制度運用上の様々な問題が生じている。要保護児童に対する行政措置については、親権者等の同意に基づく入所等の措置と家庭裁判所の承認による措置との異同、親権喪失等の審判を行政機関が申し立てることの性質等の未解明の課題が山積しており、精神保健医療福祉分野では、患者の任意の同意に基づかない強制入院における患者以外の者の「同意」の意義や都道府県及び市町村の関与の根拠と性格、司法関与の要否が問われているのがその代表的な例であるが、他にも、保育行政その他の社会保障給付に関わる公的主体の責任と契約化との関係など、枚挙にいとまがない。

少子高齢化の進む社会における要支援者の福祉を実現するためには、要支援者支援に関わる具体的法制度をめぐって生じている諸課題に対する解決を示すこと、それを可能とするための理論的検討枠組みを模索することが不可欠であるが、上記のような具体的法制度をめぐって生じている諸課題に関する従前の研究には次のような限界が存した。すなわち、問題となっている具体的諸制度は、手続の違いなどにおいて多様な様相を呈するものの、そこで提起されている問題群からは、行政過程において関係する私人又は公的主体が「同意」することの意義、その私的な契約との関係、行政過程における司法関与の根拠及びその性格、行政主体の多様化とその相互関係、行政が作用する私人間関係の性質の差異(取引関係か非取引関係か)といった、個々の法制度を横断しての考察の必要性、有用性がうかがえる。しかし、従前の研究では、個々の領域での分析の試みが中心であり、制度横断的、網羅的な分析は必ずしも十分になされてこなかった。さらに、その背景には、これらの制度に関係する実定法が複数の法分野に及び、法分野を超えた検討を要するが、法分野をまたいだ検討が必ずしも十分になされていないという限界があり、上記問題群の解明の困難の遠因になっていた。

## 2. 研究の目的

自らの生命、心身の安全等の確保が困難な者(要支援者)の支援に焦点を当て、社会保障法、行政法、民法、民事手続法、法社会学を専攻する研究者が共同し、複数の法分野の包括的考察を通じて理論的・制度的提言を行い、要支援者の福祉実現のための法的な基盤整備に資することを目的とする。

具体的には、要支援者への支援に関わる諸制度を横断的に対象として、要支援者本人、公的主体、私的主体相互間の関係を分析することで、上記の具体的課題に応えるための基盤として、実体・作用面に関わる理論的な検討枠組み、制度の仕組みの分析枠組みを構築し、それらを活用する形で、要支援者支援の具体的法制度において生じている上記の諸課題につき解決の方向性を示し、もって要支援者の福祉の実現に資する法制度の基盤整備及び改善提案を目指すものである。

## 3. 研究の方法

本研究は、児童福祉、生活保護、精神保健福祉等の領域につき、複数の法分野を架橋する包括的な理論研究を行い、制度の評価・改善に結びつけるという目的の達成のため、社会保障法の研究者に、行政法、民法、消費者法、経済法、民事及び刑事手続法、法社会学の研究者を加えた研究組織を備える。全体研究会を通じて、要支援者支援の諸制度をめぐる問題状況を具体的に把握し、理論面及び制度面の課題を設定した上で、設定された課題を踏まえ、主として文献調査及び外国法調査の方法により、手続・組織面及び実体・作用面に着目した理論研究、ならびに執行の実効性や政策を加味した制度の評価、分析を行った。

#### 4．研究成果

##### (1) 生活困窮者への支援法制の分野横断的考察と課題の提示

社会福祉立法の切り札とも言われる生活困窮者自立支援法を素材に、民法・社会保障法・行政法の観点から検討を加えたことは、本研究の主要な成果である(社会保障法35号)。生活困窮者は従来、社会福祉の谷間に阻まれてきた。社会保障法が生活上の困難に対応する給付(支援)を対象とする法分野でありながら、困難をニーズに断片化して対応してきたからである。生活困窮者の自立には、本人の生活全体を捉えた個別的・一体的・継続的支援を要する。だが同時に、かかる支援が孕む「尊厳」への干渉の危険にも対処しなければならず、支援による「尊厳」への干渉を法的に規律するには、国が地方公共団体に示すガイドラインや福祉専門職の職能団体による自治的規律といったソフトローによる実践を繰り返しながら、それを法化する営みが必要であることが示された。ここでは、法制度上開かれた課題も明らかになった。まず、誰をいかなる観点で把握するかという問題がある。例えば、支援対象の単位(「子ども」から「子ども及び保護者」へ、「生活困窮者である子ども」か「生活困窮世帯(家庭)の子ども」か)、支援の意味づけ(対象者個人の経済的自立と社会的自立、個人の支援の世帯全体の支援への結び付け、個の支援を通じた地域づくり)等がそれである。当事者間の法関係をいかに把握し統制するかという問いに加え、法制度が把握しなければならない人・局面、把握したほうがよい人・局面、把握してはならない人・局面をいかに同定するかという問いも新たに提示された。

##### (2) 子どもへの支援法制の理論的体系化のための基盤強化と実務上の解釈運用への適用

縮小社会における子ども・子育て支援と学校教育をともに視野に入れた考察によって、分野横断的に子ども及び保護者の法的地位を問うたことも、成果の一つである(2020年11月研究会報告)。前者につき、子ども・子育て支援法及び児童福祉法、後者につき特別支援教育、教育機会確保法を素材とし、2つの分野の比較によって、前者においては保護者の視点に偏り子どもの視点が弱いこと、後者については逆に家庭・保護者の視点が弱いことが確認された。他方で2つの分野に共通する視点として、法律の下での選択の保障の議論の観念的性格に目が向けられ、子ども本人について子どもの脆弱性への配慮、保護者について子どもに関する権利と自らの労働への権利の分節の必要性が明らかになった。さらに2つの分野における支援においても国家による家庭への介入の問題が生じることも解明され、支援と介入の交錯が浮かび上がった。このような子どもに対する支援法制の理論的な研究成果は、児童福祉法に基づく児童保護実務上の解釈運用に関する課題の解釈、立法論上の考察の提示に結びついた。

##### (3) 要支援者支援法制度の評価・設計に関わる仕組み解明のための分析枠組みの提示

要支援者の福祉の実現に関わる法制度の評価・設計に関わる仕組み解明のための分析枠組みとして、当事者本人を起点とし、地域(住民集団、民間事業者、NPO等)地方公共団体とその主たる機関である専門職をアクターとする三面関係の図式が有益であることが示された。かかる関係は、当事者と地域による主体的・自立的活動が基礎に据えられ、この活動を現実に可能な

らしめるために、市町村は後景に退きつつ包括・連携・協働に向けた基盤整備を担い、専門職が当事者本人に対して直接的な責任を負うという構図としても捉えられる。日本では、要支援者支援制度の設計及び運用の重大な規定要因として、司法資源の不足がしばしば指摘されるが、こうしたアクター間の関係についての分析枠組みは、地域での実践を踏まえた一定の実効性を持つものであるといえる。

#### (4) 総括

以上のように、本研究は、要支援者の福祉の実現という社会的重要性を増す課題に対して、実体法及び手続法の複数の分野並びに法社会学にまたがる研究者の参画を得て、横断的・融合的な研究をすることにより、当事者本人を起点とするアクター間の関係、支援者对被支援者構図の限界、本人の尊厳への干渉の危険性、支援における家族の位置づけ等の支援の単位、支援の内容等の法制度の評価・設計に関わる仕組み解明のための包括的・体系的視点を探求しつつ、かかる視点を踏まえて、具体的な支援者支援法制上の課題に対応しうる制度の評価、立法の方向性及び解釈論を提示することができた。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計92件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 7件）

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>横田光平                              | 4. 巻<br>36号         |
| 2. 論文標題<br>行政法からみた養子法 - もしくは子どもの権利条約からみた養子法 | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>家族 < 社会と法 >                       | 6. 最初と最後の頁<br>55 66 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし              | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-           |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>横田光平   | 4. 巻<br>1766号      |
| 2. 論文標題<br>市が運営する家庭的保育事業における乳児の死亡につき家庭保育福祉員の民事上の責任及び市の国家賠償責任が認められた事例 | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>賃金と社会保障  | 6. 最初と最後の頁<br>4 11 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                       | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                               | 国際共著<br>-          |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>石綿はる美                                       | 4. 巻<br>84巻3=4号       |
| 2. 論文標題<br>子に関する決定に対する親権者の関与のあり方 フランスにおける共同行使と単独行使の場合 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>法学  | 6. 最初と最後の頁<br>38 - 58 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                | 国際共著<br>-             |

|  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 1. 著者名<br>飯島淳子                         | 4. 巻<br>92巻11号、92巻12号           |
| 2. 論文標題<br>地方自治と行政法 再論 (上) (下)         | 5. 発行年<br>2020年                 |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                         | 6. 最初と最後の頁<br>136 - 141、120 125 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無                      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-                       |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                       | 4. 巻<br>32          |
| 2. 論文標題<br>親権者の懲戒権への家庭裁判所の関与について       | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>50-54 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                       | 4. 巻<br>83 (4)      |
| 2. 論文標題<br>親権者が数人ある場合の権限の行使について        | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>法学                           | 6. 最初と最後の頁<br>34-50 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                         | 4. 巻<br>35            |
| 2. 論文標題<br>生活困窮者自立支援法における支援対象の単位 子どもを中心に | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>社会保障法                          | 6. 最初と最後の頁<br>186-198 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                       | 4. 巻<br>なし            |
| 2. 論文標題<br>直接的な子の引渡しに関する規律の明確化         | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>山本和彦監修『論点解説 令和元年改正民事執行法』     | 6. 最初と最後の頁<br>206-220 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                                  | 4. 巻<br>なし          |
| 2. 論文標題<br>財産分与と慰謝料 最二小判昭和46年7月23日民集25巻5号805頁     | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>加藤新太郎・前田陽一・本山敦編集『実務精選120離婚・親子・相続事件判例解説』 | 6. 最初と最後の頁<br>38-39 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                    | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難            | 国際共著<br>-           |

|  |                   |
|--|-------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                       | 4. 巻<br>91(5)     |
| 2. 論文標題<br>法律時評 子どものための養育支援と介入を統合する立法へ | 5. 発行年<br>2019年   |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                         | 6. 最初と最後の頁<br>1-3 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-         |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>飯島淳子                         | 4. 巻<br>35            |
| 2. 論文標題<br>生活困窮者自立支援法の行政法学的考察          | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>社会保障法                        | 6. 最初と最後の頁<br>173-185 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>飯島淳子                         | 4. 巻<br>32            |
| 2. 論文標題<br>申請期間設定の合理性 平成29年度答申第47号     | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>119-123 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>和田俊憲・佐藤陽子・松原和彦・石綿はる美         | 4. 巻<br>7           |
| 2. 論文標題<br>『拐取』 - 刑法学会ワークショップの記録       | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>東北ローレビュー                     | 6. 最初と最後の頁<br>2-116 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>石綿はる美                        | 4. 巻<br>7             |
| 2. 論文標題<br>拐取罪を題材に刑法と対話してみて            | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>東北ローレビュー                     | 6. 最初と最後の頁<br>131-137 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>今津綾子                         | 4. 巻<br>470         |
| 2. 論文標題<br>新法解説 民事執行法等の改正について          | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                         | 6. 最初と最後の頁<br>52-58 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>今津綾子                         | 4. 巻<br>2020年冬号     |
| 2. 論文標題<br>養育費の支払確保に向けて                | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>81-88 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |



|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>太田匡彦                                   | 4. 巻<br>なし            |
| 2. 論文標題<br>日本法における強制入院制度に関する一考察 その基本的な性格に着目して    | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>大橋洋一・仲野武志編『(高木光先生退職記念論文集)法執行システムと行政訴訟』 | 6. 最初と最後の頁<br>135-154 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                    | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難           | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                          | 4. 巻<br>32          |
| 2. 論文標題<br>生殖補助医療をめぐる課題                | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>43-49 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                                     | 4. 巻<br>なし          |
| 2. 論文標題<br>婚約                                     | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>加藤新太郎・前田陽一・本山敦編『実務精選120 離婚・親子・相続事件判例解説』 | 6. 最初と最後の頁<br>72-73 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                     | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難            | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                          | 4. 巻<br>726           |
| 2. 論文標題<br>嫡出否認権者の範囲と憲法14条1項           | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>判例評論                         | 6. 最初と最後の頁<br>165-171 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか                           | 4. 巻<br>4(1)        |
| 2. 論文標題<br>子の親に対する扶養義務と社会保障 - 生活保護を中心に - | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>社会保障研究                         | 6. 最初と最後の頁<br>48-61 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-           |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか                                    | 4. 巻<br>35            |
| 2. 論文標題<br>生活困窮者自立支援法の意義と課題 - 生活困窮者自立相談支援事業を中心に - | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>社会保障法                                   | 6. 最初と最後の頁<br>159-172 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                    | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難            | 国際共著<br>-             |

|  |                   |
|--|-------------------|
| 1. 著者名<br>中原茂樹                         | 4. 巻<br>2020年3月号  |
| 2. 論文標題<br>行政不服審査法改正の意義とこれから           | 5. 発行年<br>2020年   |
| 3. 雑誌名<br>自治実務セミナー                     | 6. 最初と最後の頁<br>2-7 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-         |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平田彩子                          | 4. 巻<br>86            |
| 2. 論文標題<br>書評『縮減社会の合意形成：人口減少時代の空間制御と自治』 | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>法社会学                          | 6. 最初と最後の頁<br>191-195 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-             |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>平田彩子  | 4. 巻<br>495         |
| 2. 論文標題<br>第一線行政現場としての児童相談所 川崎二三彦『児童虐待 現場からの提言』『虐待死 なぜ起きるのか、どう防ぐか』を読む | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>自治総研  | 6. 最初と最後の頁<br>50-65 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>横田光平   | 4. 巻<br>なし            |
| 2. 論文標題<br>子ども法における『複効的行政処分』と行政訴訟 - 児童虐待への司法関与と障害児の就学先決定を素材として | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>大橋洋一・仲野武志編『法執行システムと行政訴訟』                             | 6. 最初と最後の頁<br>113-134 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                 | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                         | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>ローツ・マイア                                      | 4. 巻<br>なし            |
| 2. 論文標題<br>ドイツ離婚手続法における弁護士強制制度について                     | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>若林昌子・犬伏由子・長谷部由起子編著『家事事件リカレント講座 離婚と子の監護紛争の実務』 | 6. 最初と最後の頁<br>385-396 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                 | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>渡辺達徳 / 白石大 / 田高寛貴            | 4. 巻<br>475           |
| 2. 論文標題<br>津波による児童の被災と学校設置者の責任         | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                         | 6. 最初と最後の頁<br>134-140 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>渡辺達徳                                  | 4. 巻<br>なし            |
| 2. 論文標題<br>電子取引と未成年者保護                          | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>沖野眞己・笠井修・銭偉栄編『比較民法学の将来像（岡孝先生古稀記念論文集）』 | 6. 最初と最後の頁<br>439-455 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難          | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>今津綾子                         | 4. 巻<br>1130号       |
| 2. 論文標題<br>家事事件手続における諸問題               | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                         | 6. 最初と最後の頁<br>31-36 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>今津綾子                        | 4. 巻<br>6号          |
| 2. 論文標題<br>家事事件における執行手続—子の引渡しを中心に     | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>東北ローレビュー                    | 6. 最初と最後の頁<br>24-57 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>横田光平                         | 4. 巻<br>90巻9号         |
| 2. 論文標題<br>子ども法の基本構造と憲法上の親の権利          | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                         | 6. 最初と最後の頁<br>116-121 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>横田光平                         | 4. 巻<br>90巻11号      |
| 2. 論文標題<br>児童虐待への国家介入 - 分析的考察          | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                         | 6. 最初と最後の頁<br>37-44 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>横田光平                         | 4. 巻<br>462号        |
| 2. 論文標題<br>民法成年年齢引下げ - 子ども法の視点から       | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                         | 6. 最初と最後の頁<br>58-64 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか                         | 4. 巻<br>27号         |
| 2. 論文標題<br>貧困・低所得化する高齢者                | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>56-61 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか  | 4. 巻<br>15号         |
| 2. 論文標題<br>公的年金制度におけるジェンダー格差解消政策のあり方ー公的年金制度におけるあるべき再分配の模索 | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>ジェンダーと法   | 6. 最初と最後の頁<br>52-63 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                            | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                    | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>Maia Roots  | 4. 巻<br>14          |
| 2. 論文標題<br>Multicultural Challenges in Japanese Family Law  | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>Japanese Reports for the XXth International Congress of Comparative Law, ICCLP Publications | 6. 最初と最後の頁<br>76-92 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                          | 4. 巻<br>1巻            |
| 2. 論文標題<br>第3条A                        | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>山野目章夫編『新注釈民法』                | 6. 最初と最後の頁<br>333-355 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                          | 4. 巻<br>1巻            |
| 2. 論文標題<br>第4-6条                       | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>山野目章夫編『新注釈民法』                | 6. 最初と最後の頁<br>401-445 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                          | 4. 巻<br>1巻            |
| 2. 論文標題<br>第32条の2                      | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>山野目章夫編『新注釈民法』                | 6. 最初と最後の頁<br>627-635 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                                      | 4. 巻<br>1518号       |
| 2. 論文標題<br>離婚時の親権者指定に際して、父母の面会交流に関する意向をどのように考慮すべきか | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>ジュリスト平成29年度重要判例解説                        | 6. 最初と最後の頁<br>81-82 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                     | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難             | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                          | 4. 巻<br>57号         |
| 2. 論文標題<br>夫から妻に対する離婚に伴う財産分与と通謀虚偽表示    | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>私法判例リマークス                    | 6. 最初と最後の頁<br>76-79 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>飯島淳子                           | 4. 巻<br>27号         |
| 2. 論文標題<br>フランス行政法の法典化 「公衆と行政との関係に関する法典」 | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>行政法研究                          | 6. 最初と最後の頁<br>25-41 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-           |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>平田彩子  | 4. 巻<br>なし            |
| 2. 論文標題<br>プロセスとしての規制遵守ー規制対象企業の経験的研究に向けて                        | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>ダニエル・フット・濱野亮・太田勝造 (編) 『法の経験的社会科学の確立に向けて - 村山眞維先生古希記念』 | 6. 最初と最後の頁<br>337-356 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                          | 国際共著<br>-             |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>平田彩子                         | 4. 巻<br>30年10月号    |
| 2. 論文標題<br>公務員弁護士と規制行政                 | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>地方自治                         | 6. 最初と最後の頁<br>2-24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>滝澤紗矢子                        | 4. 巻<br>28号        |
| 2. 論文標題<br>労働法と経済法                     | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>7-13 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>滝澤紗矢子                        | 4. 巻<br>なし            |
| 2. 論文標題<br>景表法における課徴金の性質に関する再検討        | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>廣瀬久和先生古稀記念『人間の尊厳と法の役割』       | 6. 最初と最後の頁<br>535-552 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>太田匡彦                         | 4. 巻<br>90巻11号      |
| 2. 論文標題<br>精神保健福祉法に基づく非自発的入院における本人と家族  | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                         | 6. 最初と最後の頁<br>45-51 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |



|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>石綿はる美                                   | 4. 巻<br>91巻4号         |
| 2. 論文標題<br>「拐取罪を巡る比較法的・沿革的分析」に対する民法からのコメント(2)－大陸法 | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                                    | 6. 最初と最後の頁<br>118-124 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                     | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難            | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>石綿はる美                        | 4. 巻<br>463号別冊付録    |
| 2. 論文標題<br>選択的夫婦別氏制度導入議論               | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                         | 6. 最初と最後の頁<br>16-17 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 著者名<br>石綿はる美   | 4. 巻<br>なし           |
| 2. 論文標題<br>第2部 フランス法                                    | 5. 発行年<br>2018年      |
| 3. 雑誌名<br>公益社団法人・商事法務研究会『各国の親子法制(養子・嫡出推定)に関する調査研究業務報告書』 | 6. 最初と最後の頁<br>91-120 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                           | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-            |

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                       | 4. 巻<br>なし              |
| 2. 論文標題<br>扶養契約                        | 5. 発行年<br>2018年         |
| 3. 雑誌名<br>『債権法改正と民法学第3巻』               | 6. 最初と最後の頁<br>367 - 396 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-               |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                                       | 4. 巻<br>57号         |
| 2. 論文標題<br>重篤な心臓疾患を抱える未成年者の親権者の親権停止の保全処分（東京家審平28・6・29） | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>私法判例リマークス                                    | 6. 最初と最後の頁<br>64 67 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                 | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか                                  | 4. 巻<br>7号          |
| 2. 論文標題<br>日本における失業者・非正規労働者の社会的包摂 - 近年の政策展開を中心に | 5. 発行年<br>2017年     |
| 3. 雑誌名<br>社会保障法研究                               | 6. 最初と最後の頁<br>45-60 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                   | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難          | 国際共著<br>-           |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか                                  | 4. 巻<br>7号            |
| 2. 論文標題<br>JR東海認知症高齢者損害賠償事件 2 社会保障法学の視点から（判例評釈） | 5. 発行年<br>2017年       |
| 3. 雑誌名<br>社会保障法研究                               | 6. 最初と最後の頁<br>213-229 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難          | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか                         | 4. 巻<br>689号        |
| 2. 論文標題<br>共働き化社会における社会保障制度のあり方        | 5. 発行年<br>2017年     |
| 3. 雑誌名<br>日本労働研究雑誌                     | 6. 最初と最後の頁<br>51-61 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                       | 4. 巻<br>89巻11号      |
| 2. 論文標題<br>不法行為責任と「家族」の関わり             | 5. 発行年<br>2017年     |
| 3. 雑誌名<br>法律時報                         | 6. 最初と最後の頁<br>91-97 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                       | 4. 巻<br>下             |
| 2. 論文標題<br>第36章 児童の虐待をめぐる諸問題           | 5. 発行年<br>2017年       |
| 3. 雑誌名<br>講座実務家事事件手続法                  | 6. 最初と最後の頁<br>179-205 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>今津綾子                         | 4. 巻<br>下             |
| 2. 論文標題<br>合意に相当する審判                   | 5. 発行年<br>2017年       |
| 3. 雑誌名<br>講座実務家事事件手続法                  | 6. 最初と最後の頁<br>465-488 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>横田光平                                   | 4. 巻<br>21            |
| 2. 論文標題<br>家事事件手続法と行政法 - 「行政的裁判」・家庭裁判所・実体法上の法的地位 | 5. 発行年<br>2017年       |
| 3. 雑誌名<br>行政法研究                                  | 6. 最初と最後の頁<br>109-145 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難           | 国際共著<br>-             |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>飯島淳子                         | 4. 巻<br>81巻6号      |
| 2. 論文標題<br>行政組織とその構成員の責任に関する一考察        | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>法学                           | 6. 最初と最後の頁<br>1-26 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>横田光平  | 4. 巻<br>93巻3号         |
| 2. 論文標題<br>未成年後見人による未成年被後見人の保険金横領につき家事審判官による未成年後見人の後見監督が国家賠償法1条1項に基づき違法とされた事例 | 5. 発行年<br>2017年       |
| 3. 雑誌名<br>自治研究  | 6. 最初と最後の頁<br>134-147 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                          | 4. 巻<br>1             |
| 2. 論文標題<br>乳児への輸血を拒否する親権者に対する審判前の保全処分  | 5. 発行年<br>2017年       |
| 3. 雑誌名<br>家事法の理論・実務・判例                 | 6. 最初と最後の頁<br>172 186 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                                      | 4. 巻<br>1518号       |
| 2. 論文標題<br>離婚時の親権者指定に際して、父母の面会交流に関する意向をどのように考慮すべきか | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>ジュリスト                                    | 6. 最初と最後の頁<br>81 82 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                     | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難             | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>渡辺達徳                                  | 4. 巻<br>4号          |
| 2. 論文標題<br>取締法規と民事法 割賦販売法の改正を手がかりとした『システム化』への視点 | 5. 発行年<br>2017年     |
| 3. 雑誌名<br>消費者法研究                                | 6. 最初と最後の頁<br>13-33 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                  | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難          | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>渡辺達徳                                 | 4. 巻<br>238           |
| 2. 論文標題<br>信頼関係破壊の法理 (最判平成8年10月4日民集50巻9号2431頁) | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>別冊ジュリスト                              | 6. 最初と最後の頁<br>122-123 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                 | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         | 国際共著<br>-             |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                                    | 4. 巻<br>431           |
| 2. 論文標題<br>精神障害により責任能力を欠く者の行為に関する民法714条1項類推適用に基づく責任 | 5. 発行年<br>2016年       |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                                      | 6. 最初と最後の頁<br>140,140 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                      | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難              | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>久保野恵美子                       | 4. 巻<br>18          |
| 2. 論文標題<br>婚姻をするについての自由と嫡出推定           | 5. 発行年<br>2016年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>72,78 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|   |                    |
|---|--------------------|
| 1. 著者名<br>飯島 淳子                         | 4. 巻<br>なし         |
| 2. 論文標題<br>「社会」改革と行政法理論                 | 5. 発行年<br>2016年    |
| 3. 雑誌名<br>小早川光郎先生古稀記念『現代行政法の構造と展開』（有斐閣） | 6. 最初と最後の頁<br>3,17 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし           | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-          |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか  | 4. 巻<br>1498          |
| 2. 論文標題<br>別居中の遺族による遺族基礎年金の生計維持要件の充足：各遺族基礎年金不支給決定取消請求事件 | 5. 発行年<br>2016年       |
| 3. 雑誌名<br>ジュリスト   | 6. 最初と最後の頁<br>147,150 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                  | 国際共著<br>-             |

|   |                  |
|---|------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか                                | 4. 巻<br>7(予定)    |
| 2. 論文標題<br>日本における失業者・非正規労働者の社会的包摂：近年の政策展開を中心に | 5. 発行年<br>2017年  |
| 3. 雑誌名<br>社会保障法研究                             | 6. 最初と最後の頁<br>未定 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                 | 査読の有無<br>無       |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難        | 国際共著<br>-        |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか                         | 4. 巻<br>227         |
| 2. 論文標題<br>厚生年金基金からの脱退                 | 5. 発行年<br>2016年     |
| 3. 雑誌名<br>別冊ジュリスト・社会保障判例百選[第5版]        | 6. 最初と最後の頁<br>94,95 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                  |
|--|------------------|
| 1. 著者名<br>高さやか                         | 4. 巻<br>未定       |
| 2. 論文標題<br>JR東海認知症高齢者損害賠償事件            | 5. 発行年<br>2017年  |
| 3. 雑誌名<br>社会保障法研究                      | 6. 最初と最後の頁<br>未定 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無       |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-        |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>岩村正彦                                 | 4. 巻<br>1             |
| 2. 論文標題<br>責任能力を欠く認知症高齢者による加害行為とその監督義務者の不法行為責任 | 5. 発行年<br>2016年       |
| 3. 雑誌名<br>社会保障研究                               | 6. 最初と最後の頁<br>240,250 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                 | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         | 国際共著<br>-             |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>横田光平                                | 4. 巻<br>なし            |
| 2. 論文標題<br>即時強制・仮の行政処分・事実行為の実施 - 参照領域としての子ども法 | 5. 発行年<br>2016年       |
| 3. 雑誌名<br>小早川光郎先生古稀記念『現代行政法の構造と展開』(有斐閣)       | 6. 最初と最後の頁<br>729,744 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難        | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>横田光平                         | 4. 巻<br>744         |
| 2. 論文標題<br>子ども法からみた18歳選挙権              | 5. 発行年<br>2016年     |
| 3. 雑誌名<br>法学セミナー                       | 6. 最初と最後の頁<br>27,31 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                          | 4. 巻<br>68巻7号      |
| 2. 論文標題<br>嫡出否認と扶養負担の調整                | 5. 発行年<br>2016年    |
| 3. 雑誌名<br>法曹時報                         | 6. 最初と最後の頁<br>1,26 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                          | 4. 巻<br>429         |
| 2. 論文標題<br>親権                          | 5. 発行年<br>2016年     |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                         | 6. 最初と最後の頁<br>28,32 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>小池泰                          | 4. 巻<br>20          |
| 2. 論文標題<br>「遺留分制度に関する見直し」について          | 5. 発行年<br>2017年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                      | 6. 最初と最後の頁<br>39,46 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>石綿はる美                               | 4. 巻<br>18          |
| 2. 論文標題<br>「家族」の呼称としての氏と婚姻の効力としての夫婦同氏：民法の視点から | 5. 発行年<br>2016年     |
| 3. 雑誌名<br>論究ジュリスト                             | 6. 最初と最後の頁<br>79,85 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難        | 国際共著<br>-           |



|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>今津綾子                             | 4. 巻<br>なし            |
| 2. 論文標題<br>遺産分割審判における前提問題の処理に関する一試論        | 5. 発行年<br>2017年       |
| 3. 雑誌名<br>徳田和幸先生古稀祝賀論文集『民事手続法の現代的課題と理論的解明』 | 6. 最初と最後の頁<br>595,609 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-             |

|   |                   |
|---|-------------------|
| 1. 著者名<br>今津綾子                                      | 4. 巻<br>432       |
| 2. 論文標題<br>特別法にもとづく医薬品副作用被害救済制度における救済要件としての因果関係の証明度 | 5. 発行年<br>2016年   |
| 3. 雑誌名<br>法学教室                                      | 6. 最初と最後の頁<br>164 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                      | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難              | 国際共著<br>-         |

〔学会発表〕 計32件（うち招待講演 5件 / うち国際学会 8件）

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>飯島淳子                  |
| 2. 発表標題<br>生活困窮者自立支援法の行政法学的考察    |
| 3. 学会等名<br>社会保障法学会第74回大会ミニシンポジウム |
| 4. 発表年<br>2019年                  |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>和田俊憲・佐藤陽子・松原和彦・石綿はる美 |
| 2. 発表標題<br>ワークショップ「拐取」          |
| 3. 学会等名<br>日本刑法学会第97回大会         |
| 4. 発表年<br>2019年                 |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>滝澤紗矢子  |
| 2. 発表標題<br>Whether and How Competition Law Should Regulate Powerful Digital Platforms? Data Collection, Use and Processing of Consumer's Data |
| 3. 学会等名<br>Oxford IECL Seminar Series (招待講演)  |
| 4. 発表年<br>2020年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>高さやか                                 |
| 2. 発表標題<br>生活困窮者自立支援法の意義と課題 - 生活困窮者自立相談支援事業を中心に |
| 3. 学会等名<br>日本社会保障法学会第74回大会ミニシンポジウム              |
| 4. 発表年<br>2019年                                 |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Ayako Hirata   |
| 2. 発表標題<br>Government Lawyers and Regulatory Decision-making: A Japanese Case |
| 3. 学会等名<br>Research Committee for Sociology of Law (RCSL) (国際学会)              |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Ayako Hirata  |
| 2. 発表標題<br>Dealing with Ambiguity: How Horizontal Networks Among Street-Level Offices Influence Regulatory Enforcement |
| 3. 学会等名<br>Research Committee for Sociology of Law (RCSL) (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Ayako Hirata                                       |
| 2. 発表標題<br>Government Lawyers and Regulation: A Japanese Case |
| 3. 学会等名<br>Law and Society Association (国際学会)                 |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>平田彩子                         |
| 2. 発表標題<br>基調講演「法・条例の実施場面を中心とした弁護士ニーズ」  |
| 3. 学会等名<br>日本弁護士連合会「自治立法に関する総合研修」(招待講演) |
| 4. 発表年<br>2019年                         |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>横田光平                             |
| 2. 発表標題<br>行政法からみた養子法 - もしくは子どもの権利条約からみた養子法 |
| 3. 学会等名<br>日本家族<社会と法>学会                     |
| 4. 発表年<br>2019年                             |

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>久保野恵美子                |
| 2. 発表標題<br>生活困窮者自立支援法における子ども     |
| 3. 学会等名<br>社会保障法学会第74回大会ミニシンポジウム |
| 4. 発表年<br>2019年                  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>平田彩子   |
| 2. 発表標題<br>Constructing the Meaning of Law through Inter-office Interaction: Seeking Legitimacy of Regulatory Enforcement |
| 3. 学会等名<br>Law and Society Association (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|                            |
|----------------------------|
| 1. 発表者名<br>平田彩子            |
| 2. 発表標題<br>自治体間ネットワークと法の解釈 |
| 3. 学会等名<br>岡山行政法実務研究会      |
| 4. 発表年<br>2018年            |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>平田彩子  |
| 2. 発表標題<br>自治体間ネットワークと法の解釈・適用－地方自治体による環境規制法の実施・執行の場面から |
| 3. 学会等名<br>日本行政学会                                      |
| 4. 発表年<br>2018年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Maia Roots   |
| 2. 発表標題<br>Sexual Minorities and Family Law in Japan - A Comparative Overview       |
| 3. 学会等名<br>The 20th Congress of the International Academy of Comparative Law (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>太田匡彦   |
| 2. 発表標題<br>Zwangseinweisung ins Krankenhaus im japanischen Gesundheitsrecht. Ein Schnittpunkt vom Sozialrecht und Polizeirech |
| 3. 学会等名<br>Fortentwicklung des Verwaltungsrechts, Japanisch-Deutsche Tagung der Universitat Konstanz (国際学会)                   |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>石綿はる美  |
| 2. 発表標題<br>Can we protect “wife” in new inheritance law? —A movement of inheritance law reform in Japan |
| 3. 学会等名<br>BAJS(British Association for Japanese Studies) Conference 2018 (国際学会)                        |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|                            |
|----------------------------|
| 1. 発表者名<br>石綿はる美           |
| 2. 発表標題<br>同性婚容認後のフランスの家族法 |
| 3. 学会等名<br>東北法学会           |
| 4. 発表年<br>2018年            |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>石綿はる美                       |
| 2. 発表標題<br>相続法改正を考える 配偶者居住権を中心に        |
| 3. 学会等名<br>日本台湾法学研究会主催・第5回日台法学研究シンポジウム |
| 4. 発表年<br>2019年                        |

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>高さやか                       |
| 2. 発表標題<br>生活困窮者自立支援制度における自立相談支援の法的分析 |
| 3. 学会等名<br>東北社会法研究会                   |
| 4. 発表年<br>2018年                       |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>石綿はる美                        |
| 2. 発表標題<br>短期居住権・配偶者居住権                 |
| 3. 学会等名<br>有斐閣法律講演会2019：新しい「民法（相続法）」を学ぶ |
| 4. 発表年<br>2019年                         |

|                              |
|------------------------------|
| 1. 発表者名<br>高さやか・飯島淳子・久保野恵美子  |
| 2. 発表標題<br>「生活困窮者自立支援の法的仕組み」 |
| 3. 学会等名<br>東京社会保障法研究会        |
| 4. 発表年<br>2019年              |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>石綿はる美                        |
| 2. 発表標題<br>家族と刑法：第1部 拐取罪と子の奪い合い、民法の観点から |
| 3. 学会等名<br>東北大学民法研究会                    |
| 4. 発表年<br>2019年                         |

|                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>久保野恵美子                 |
| 2. 発表標題<br>家族と刑法：第2部 児童虐待、民法の観点から |
| 3. 学会等名<br>東北大学民法研究会              |
| 4. 発表年<br>2019年                   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>平田 彩子  |
| 2. 発表標題<br>Regulatory Ambiguity: a pilot survey of regulated entities' perspectives |
| 3. 学会等名<br>法と経済学会   |
| 4. 発表年<br>2017年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>平田 彩子                              |
| 2. 発表標題<br>あいまいな法規定をめぐる現場自治体と事業者 規制実施の正当性を求めて |
| 3. 学会等名<br>北海道大学法理論研究会定例研究会                   |
| 4. 発表年<br>2017年                               |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>久保野恵美子                    |
| 2. 発表標題<br>相続法改正論議にみる「家族の多様化」・「高齢社会」 |
| 3. 学会等名<br>家族 社会と法 学会第34回学術大会        |
| 4. 発表年<br>2017年                      |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>石綿はる美   |
| 2. 発表標題<br>Le mouvement en faveur de la r&eacute;forme du droit de |
| 3. 学会等名<br>s&eacute;minaire japon contemporain: droit et famille   |
| 4. 発表年<br>2017年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>小池泰   |
| 2. 発表標題<br>基調報告・嫡出推定・否認制度の現状と課題                        |
| 3. 学会等名<br>日本弁護士連合会家事法制シンポジウム「法の実親子関係の成立ルールを考える」(招待講演) |
| 4. 発表年<br>2016年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>平田彩子  |
| 2. 発表標題<br>"Dealing with Complexity and Uncertainty: the present and the future of frontline regulatory enforcement" |
| 3. 学会等名<br>7th Dutch-Japanese Law Symposium (招待講演) (国際学会)  |
| 4. 発表年<br>2016年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>石綿はる美  |
| 2. 発表標題<br>Le mouvement de la reforme du droit des successions au Japon                 |
| 3. 学会等名<br>Une demi-journee d'etudes sur la 'Transmission au sein de la famille' (招待講演) |
| 4. 発表年<br>2017年   |



|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>久保野恵美子                        |
| 2. 発表標題<br>不法行為責任と家族の関わり                 |
| 3. 学会等名<br>シンポジウム「責任無能力者による不法行為と「家族」の責任」 |
| 4. 発表年<br>2017年                          |

〔図書〕 計6件

|                                     |                 |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>平田 彩子                     | 4. 発行年<br>2017年 |
| 2. 出版社<br>東京大学出版会                   | 5. 総ページ数<br>240 |
| 3. 書名<br>自治体現場の法適用 あいまいな法はいかに実施されるか |                 |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>磯谷 文明、町野 朔、水野 紀子、岩瀬 徹、久保野 恵美子、柑本 美和、浜田 真樹、藤田 香織編、横田 光平分担執筆 | 4. 発行年<br>2020年 |
| 2. 出版社<br>有斐閣  | 5. 総ページ数<br>758 |
| 3. 書名<br>実務コンメンタール 児童福祉法・児童虐待防止法                                     |                 |

|  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| 1. 著者名<br>二宮周平編集代表、棚村政行編集、嵩さやか分担執筆               | 4. 発行年<br>2020年                   |
| 2. 出版社<br>日本評論社                                  | 5. 総ページ数<br>480 (うち、担当部分159 186頁) |
| 3. 書名<br>現代家族法講座 第1巻 個人、国家と家族 (論文名「6 社会保障法制と家族」) |                                   |

|  |                                |
|--|--------------------------------|
| 1. 著者名<br>二宮周平編集代表、野沢紀雅編集、小池泰分担執筆          | 4. 発行年<br>2021年                |
| 2. 出版社<br>日本評論社                            | 5. 総ページ数<br>352 (うち、担当部分1 22頁) |
| 3. 書名<br>現代家族法講座 第3巻 親子 (論文名「1 嫡出推定と嫡出否認」) |                                |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                     | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)         | 備考 |
|-------|---|-------------------------------|----|
| 研究分担者 | 高 さやか<br>(Dake Sayaka)<br><br>(00302646)      | 東北大学・法学研究科・教授<br><br>(11301)  |    |
| 研究分担者 | 飯島 淳子<br>(Iijima Junko)<br><br>(00372285)     | 東北大学・法学研究科・教授<br><br>(11301)  |    |
| 研究分担者 | 小池 泰<br>(Koike Yasushi)<br><br>(00309486)     | 九州大学・法学研究院・教授<br><br>(17102)  |    |
| 研究分担者 | 横田 光平<br>(Yokota Kohei)<br><br>(10323627)     | 同志社大学・司法研究科・教授<br><br>(34310) |    |
| 研究分担者 | 石綿 はる美<br>(Ishiwata Harumi)<br><br>(10547821) | 東北大学・法学研究科・准教授<br><br>(11301) |    |

## 6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                   | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                   | 備考 |
|-------|---|---|----|
| 研究分担者 | 渡辺 達徳<br>(Watanabe Tatsunori)<br>(20230972) | 東北大学・法学研究科・教授<br><br>(11301)            |    |
| 研究分担者 | ROOTS MAIA<br>(Roots Maia)<br>(20754550)    | 東北大学・法学研究科・准教授<br><br>(11301)           |    |
| 研究分担者 | 滝澤 紗矢子<br>(Takizawa Sayako)<br>(40334297)   | 東北大学・法学研究科・教授<br><br>(11301)            |    |
| 研究分担者 | 中原 茂樹<br>(Nakahara Shigeki)<br>(60292819)   | 関西学院大学・司法研究科・教授<br><br>(34504)          |    |
| 研究分担者 | 太田 匡彦<br>(Ota Masahiko)<br>(80251437)       | 東京大学・大学院法学政治学研究科(法学部)・教授<br><br>(12601) |    |
| 研究分担者 | 平田 彩子<br>(Hirata Ayako)<br>(80547810)       | 岡山大学・社会文化科学研究科・准教授<br><br>(15301)       |    |
| 研究分担者 | 大谷 祐毅<br>(Otani Yuki)<br>(80707498)         | 東北大学・法学研究科・准教授<br><br>(11301)           |    |
| 研究分担者 | 今津 綾子<br>(Imazu Ayako)<br>(80708206)        | 東北大学・法学研究科・准教授<br><br>(11301)           |    |

6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                         | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                           | 備考 |
|-------|---|---|----|
| 研究分担者 | 諸岡 慧人<br><br>(Morooka Akito)<br><br>(30802681)    | 東北大学・法学研究科・准教授<br><br><br><br>(11301)           |    |
| 研究分担者 | 岩村 正彦<br><br>(Iwamura Masahiko)<br><br>(60125995) | 東京大学・大学院法学政治学研究科（法学部）・教授<br><br><br><br>(12601) |    |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

|   |                    |
|---|--------------------|
| 国際研究集会<br>Prof. Dr. Dr. Jochen Vollmann (Ruhr-Universität Bochum), Die stationäre Zwangsbehandlung von psychisch Kranken in Deutschland. Ethische, rechtliche und medizinische Aspekte (東京大学法学部研究室) | 開催年<br>2019年～2019年 |
|---|--------------------|

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

|         |         |
|---------|---------|
| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|